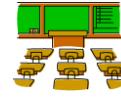


水戸教育事務所だより



第 14 号

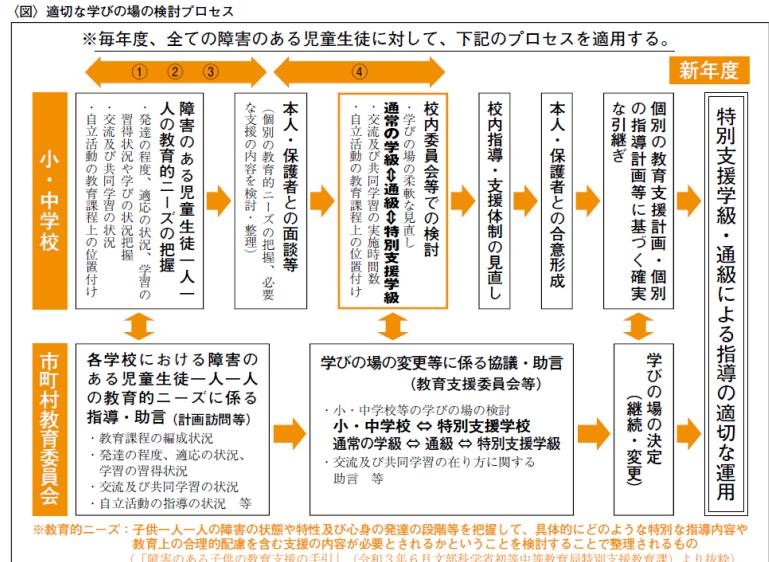
2026年1月15日

特別支援教育に係る集合指導訪問（担当者部会）への参加ありがとうございました

【集合指導訪問の内容】

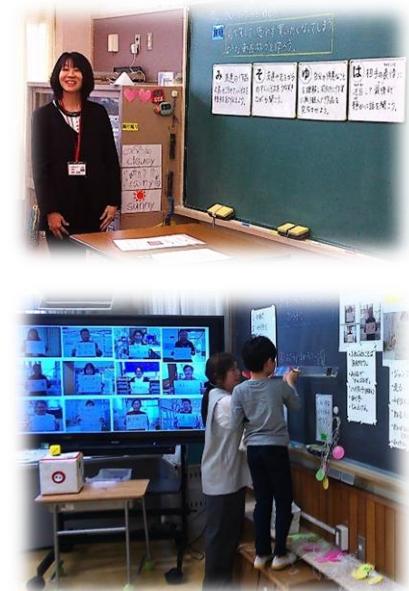
特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的として、幼稚園及び幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員を対象に研修を実施いたしました。

担当者部会では、自立活動の公開授業を行うとともに、その実践を踏まえた協議を行い、自立活動の指導はもとより、各学校の特別支援教育に係る課題や成果の共有化を図りました。協議の中では、適切な学びの場の検討プロセスについて協議しました。その中で、学びの場の検討が、市町村教育支援委員会での学びの場の変更に向けて審議することを目的としてしまう傾向が見られるため、本来の目的である、児童生徒への支援をより充実させるための機会ととらえ、「学びの場の検討」をした。



【集合指導訪問の会場校】

参加した市町村	会場校（提案授業校）
水戸市、ひたちなか市	水戸市立堀原小学校、水戸市立第五中学校 ひたちなか市立中根小学校 ひたちなか市立勝田第三中学校
笠間市、小美玉市	笠間市立稻田中学校
茨城町、大洗町、城里町	茨城町立大戸小学校
東海村、那珂市	東海村立石神小学校
常陸大宮市、大子町	常陸大宮市立大宮北小学校



授業者の先生方には、学習指導案づくりから授業公開まで大変お世話になりました。自立活動の授業を検討し、公開いただいたことで参加された先生方の学びの場となりました。授業者の先生方は、児童生徒の障害の状態、発達や経験の程度などの実態を的確に把握されており、個々の障害による学習上または生活の困難を改善・克服するための指導を丁寧に行っていただきました。

【参加者の感想】（※事後アンケートより抜粋）

- ・とても貴重な時間であった。先生と生徒のあたたかい関係が身近に感じられ、中学校も幼稚園と基本は同じだと安心した。授業の内容も興味深かった。(幼児教育施設職員)
 - ・自立活動については手探り状態な部分もありながらの指導となっているところもあったのですが、今回の研修で得たことを同じ学校で特別支援の授業を担当している先生方と共有して学習指導に生かしていきたいです。(中学校教諭)
 - ・他校種間の交流により、繋がりを意識した支援について考えることができた。生徒への言葉かけによって、生徒たちの興味関心の深まり、やる気、成功感に繋がっていくと感じた。(特別支援学校教諭)
 - ・研修に参加させていただくと、毎回刺激になった。高校でも取り入れられるような支援内容を研修の中で見いだし、生かしていきたいと思う。また、今回幼稚園から高校まで幅広い校種のグループで協議をしたが、低年齢から積み重ねられてきた支援があって、高校につながっていることを改めて実感した。高校は、進路に関して最終出口ともなる場所なので、幼・小・中の先生方の思いを、それぞれの生徒にあった進路へとつなげていけるように精一杯支援していきたいと思った。(高等学校教諭)